

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 N-（4-ブロモブチル）フタルイミドのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する急性
毒性試験

試験番号 No. 2005-生114

試験法ガイドライン

本試験は厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」（薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環保企発第 031121002 号、平成 15 年 11 月 21 日、平成 17 年 4 月 1 日最終改訂）に準拠して実施した。

- | | |
|--------------|---|
| 1) 被験物質 | : N-（4-ブロモブチル）フタルイミド |
| 2) 暴露方式 | : 半止水式（24 時間毎に試験溶液の全量を交換） |
| 3) 供試生物 | : ヒメダカ(<i>Oryzias latipes</i>) |
| 4) 暴露期間 | : 96 時間 |
| 5) 試験濃度（設定値） | : 対照区, 3.7, 6.6, 12, 21, 37 mg/L 公比; 1.8 |
| 6) 試験溶液量 | : 5 L/容器（密閉容器） |
| 7) 連数 | : 1 容器/試験区 |
| 8) 供試生物数 | : 10 尾/試験区 |
| 9) 試験温度 | : 24±1 °C |
| 10) 照明 | : 室内光、16 時間明/8 時間暗 |
| 11) 給餌 | : 無給餌 |
| 12) 通気 | : なし |
| 13) pH | : 試験溶液の pH調整は行わない |
| 14) 分析法 | : HPLC 法 |

結 果

1) 試験溶液中の被験物質濃度

被験物質濃度の変動は主に分解ならびに揮散による影響と考えられたため、各測定値の時間加重平均値(暴露開始時と 24 時間換水前および 72 時間換水後と暴露終了時の対数平均値を算出し、それらの算術平均値)を求め、各影響濃度を算出した。

2) 50 %死亡濃度

24 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 14 mg/L (95 %信頼限界: 11 ~ 18 mg/L), Probit

48 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 7.9 mg/L(95 %信頼限界: 6.1 ~ 10 mg/L), Probit

72 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 6.5 mg/L(95 %信頼限界: 5.0 ~ 8.7 mg/L), Probit

96 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 6.2 mg/L(95 %信頼限界: 4.7 ~ 8.1 mg/L), Probit